

株主の皆様へ

第119期  
年次報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 安藤 道明

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、本年3月の東日本大震災により、被災されました皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますよう心からお祈り申し上げます。

さて、当社は平成23年3月31日をもちまして第119期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景とした輸出の増加や、中国をはじめとするアジアを中心とした設備投資が増加するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、急速な円高、株価の低迷、さらには雇用環境の一層の悪化など、景気先行きに対する不透明感が、払拭されるまでには至りませんでした。

貴金属リサイクル業界におきましては、金・銀・プラチナなどの貴金属価格が大幅に上昇したものの、景気低迷により需要が伸びず、業績は低調に推移いたしました。

当社の主力とする貴金属事業におきましては、商

事部門および宝飾部門ともに営業強化策が実を結び、順調に推移いたしました。工場部門につきましては、金の生産能力に見合った原料の集荷量が、当初の見込みを大幅に下回ったことから、金の生産量および売上高は前期に比べ減少いたしました。

不動産事業におきましては、住宅市場では、過去最大規模の住宅ローン減税等の税制措置や、住宅取得時における生前贈与の非課税限度枠の拡大が実施され、戸建て住宅の販売および大都市圏を中心に、マンションの販売に復調の兆しが見られましたが、主要都市におけるオフィスビル、商業施設の空室率が上昇するなど、依然厳しい状況のもとで推移いたしました。

売上高につきましては、物件販売が都内のマンション2戸にとどまり、前期に比べ半減いたしました。

機械事業におきましては、アジア新興諸国の経済の拡大、在庫調整の進捗等、景気は緩やかな回復基調にありますが、国内の工作機械の受注は依然として低迷を続けております。

しかしながら、当社は他社に先駆けて、事業の再構築を図ってきたことが功を奏し、売上高は前期に

比べ大幅に増加いたしました。

投資事業におきましては、営業損失の計上により、売上高を計上することができませんでした。

この結果、当連結会計年度の売上高は、機械事業が増加したものの、貴金属事業、不動産事業および投資事業が減少したことから、売上高は前期比2.2%減少の317億78百万円、金額にして7億13万円の減収となりました。

営業損益は、不動産事業、投資事業において大幅な損失を計上したものの、貴金属事業および機械事業が黒字転換したことから、前期に比べ3億76百万円改善し、3億87百万円の損失となりました。

経常損益は、営業外収益として国庫補助金収入等30百万円が発生したものの、営業外費用として休山管理費等80百万円が発生したことから、前期に比べ3億81百万円改善し、4億37百万円の損失となりました。

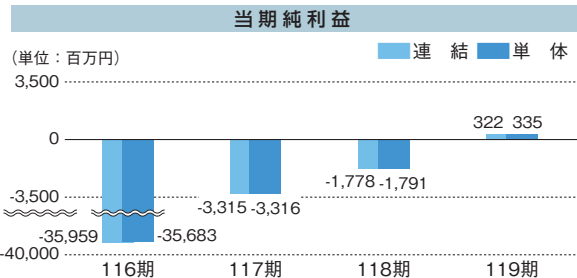
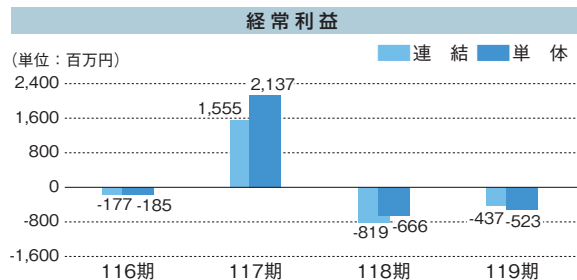
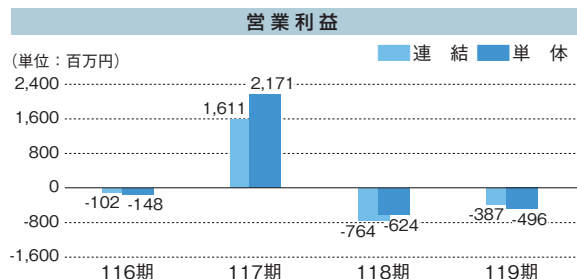
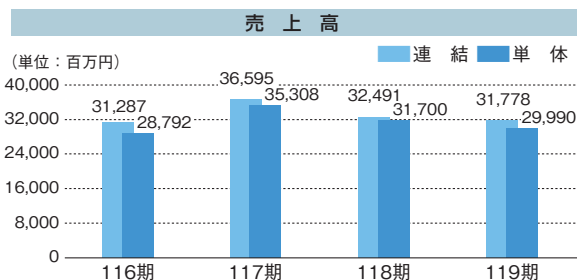
当期純損益は、特別利益として貸倒引当金戻入額等9億61百万円を計上し、他方、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等2億31百万円を計上したことから、3億22百万円の利益となりました。

なお、期末配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせていただきます。

当社グループは全社員の力を結集し、新たなニーズに応える事業展開を図り収益の増大を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



## セグメント情報

### 貴金属事業部門

貴金属事業部門、東京工場における金の生産量は、金の生産能力に見合った原料の集荷量が当初の見込みを大幅に下回ったことから、前期に比べ43.1%減少の3,980キログラム（前期は6,998キログラム）となりました。

しかしながら、商事部門および宝飾部門については、営業強化策が実を結び業績が順調に推移し、また、貴金属価格の上昇もあったことから、売上高は298億60百万円（前期は311億78百万円）となり、前期に比べ4.2%の減少にとどまりました。

営業損益につきましては、貴金属価格の上昇に加え仕入コストの削減が寄与し、1億38百万円の利益（前期は1億31億円の損失）と大幅に改善いたしました。

新たな営業強化策として、平成23年2月に御徒町地区で4店舗目となる「新御徒町支店」を新設いたしました。

大規模な宝飾品問屋街である同地区で、既に事業展開している御徒町支店、御徒町南口支店、仲御徒町支店との相乗効果により収益の拡大を図ってまいります。

営業拠点につきましては、東京地区9店舗および地方5店舗を合わせ14店舗体制となりました。

また、平成23年3月には東京都公安委員会の質屋許可証を得て、五反田支店内に「中外質商」の営業を開始いたしました。

国内金建値（期中平均）は、1グラム当たり3,583円（前期は3,074円）となりました。



東京工場溶媒抽出設備



東京工場分析室

## 不動産事業部門

不動産事業部門の売上高は、都内のマンション2戸の販売および不動産賃貸収入等を合わせて1億27百万円（前期は3億63百万円）、前期に比べ2億36百万円の減収となりました。

営業損益につきましては、99百万円の損失（前期は2億75百万円の損失）となりました。

## 機械事業部門

機械事業部門は、リーマンショック以降の急激な売上高の減少に対応するため、支店の閉鎖・統合を進めるほか、同業他社に先駆け在庫機械の処分を完了し、優位な仕入ができるよう情報の収集に注力してまいりました。

この結果、売上高は17億89百万円（前期は7億61百万円）、前期比10億28百万円の大増収となりました。

営業損益につきましては、2億38百万円改善の59百万円の利益（前期は1億79百万円の損失）となりました。

## 投資事業部門

投資事業につきましては、有利で安定した運用を基本としておりますが、当期におきましては売上高を計上することができませんでした。（前期は1億87百万円の売上）

営業損益は、1億43百万円の損失（前期は1億67百万円の利益）となりました。

事業セグメント別の売上高は次のとおりであります。

事業区分	当連結会計年度	前連結会計年度	前年度比
	百万円	百万円	百万円
貴金属事業	29,860	31,178	△ 1,317 (△ 4.2%)
不動産事業	127	363	△ 236 (△ 64.9%)
機械事業	1,789	761	1,028 (135.1%)
投資事業	—	187	△ 187 (—%)
合計	31,778	32,491	△ 713 (△ 2.2%)

(注) 投資事業につきましては、重要性が増したことから、内容を適切に開示するため、前期よりセグメント区分しております。

# トピックス

## 1. 貴金属事業部

全国の営業拠点は、平成23年2月25日新設の新御徒町支店を含めて14店舗体制となりました。

当社は、貴金属事業部門を精金部門と宝飾部門の2つに区分しております。

精金部門の12支店は、主に金・プラチナ等の貴金属原料の仕入および製品等の販売を行っており、東京工場は金およびプラチナの精製事業を行っております。

当期におきましては、金の生産量が前期に比べ43.1%減少の3,980キログラムとなりました。

前期に金の生産能力を増強したことから、競争激化の中、多方面からの金原料集荷を進めてきましたが、トータルで利益を確保することが困難となり、採算を重視した選別仕入に徹してまいりました。

この結果、仕入コストの削減が寄与し、収益の改善につながりました。

精金部門は、金およびプラチナをはじめとする白金族のリサイクル事業をメインとして事業展開し、売上高および利益の増大を図ってまいります。

宝飾部門はダイヤモンドの仕入、卸を主な業務とする「仲御徒町支店」、ダイヤモンドを中心とした宝石の仕入、販売を行なう「ルピナス銀座店」は幅広い顧客ニーズに対応した積極的な営業活動や商品開発に取り組んでまいります。

また、貴金属事業の営業強化策の一貫として、五反田支店内に「中外質商」の営業を開始いたしました。

仕入先の多様化につなげてまいります。

貴金属事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.jigane.com/>

貴金属事業部は、今後とも地球に優しいリサイクル事業を柱に、新技術の確立や新製品の提案を行なってまいります。



金地金1キログラム10本入り



純金製 尾長鶏（商品の一例）

## 2. レアメタル・レアアースの研究について

当社は、貴金属リサイクルからダイヤモンドの売買、レアメタル・レアアースの研究まで幅広く手がけておりますが、昨年7月の中国による大幅なレアアース輸出枠の削減、9月下旬以降の中国からのレアアース貨物の対日輸出の停滞を受け、経済産業省が打ち出したレアアース総合対策と当社のリサイクル事業の方向性が一致したことから、「リサイクル品からの白金・パラジウム精製分析設備増設事業」に対し、レアアース対策補助金が採択されました。

国から50%の補助を受け、ICP（誘導結合プラズマ）発光分析装置、プラチナ王水溶解反応槽等の設備増強を図ってまいります。

レアメタル・レアアースの研究に注力し、白金族であるプラチナ・パラジウム等の精製技術の研究を進め、原料の仕入れから精製、加工、地金販売までを一貫して手がけてまいります。

## 3. 宝飾部門（ルピナス銀座店、仲御徒町支店）のご紹介

ルピナス銀座店、仲御徒町支店において、ダイヤモンドのルースの販売を中心として、ジュエリー商品の各種販売を行っております。

ダイヤモンドの在庫を豊富に取り揃えており、お客様に満足していただける商品をご提供してまいります。

宝飾部門のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.lupinus-japan.com>



ルビーリング・ネックレス（商品の一例）



ダイヤモンドネックレス・リング（商品の一例）

## 4. 機械事業部

機械事業部門は、中古工作機械、钣金機械等の仕入販売を中心としたビジネスモデルを構築しており、業界では、トップクラスの地位を占めております。

リーマンショック以降、支店の統廃合を実施するなど事業の再構築を鋭意進めると共に、情報収集に注力し、仕入の強化を図ってまいりました。

販売面では、全国各地で現地機械入札会を開催するなど、積極的に営業活動を展開しております。

業界のプライスリーダーとしてマーケットに情報発信を続けてまいります。

機械事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.intexkikai.com/>



NC複合加工機



毎月発行の中古工作機械専門誌



立型マシニングセンタ



ターレットパンチプレス



# 財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在		平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>[流動資産]</b>	<b>6,024</b>	<b>6,484</b>	<b>[流動負債]</b>	<b>491</b>	<b>441</b>
現金及び預金	1,940	2,389	買掛金	10	15
受取手形及び売掛金	1,132	984	短期借入金	—	45
有価証券	35	13	1年内返済予定の長期借入金	168	84
商品及び製品	779	617	未払金	51	45
仕掛品	116	341	未払法人税等	34	34
原材料及び貯蔵品	50	62	債務保証損失引当金	15	37
販売用不動産	357	—	デリバティブ債務	189	151
仕掛不動産	431	1,559	その他	20	26
預け金	998	1,382	<b>[固定負債]</b>	<b>894</b>	<b>467</b>
デリバティブ債権	141	—	長期借入金	640	361
その他	39	59	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
貸倒引当金	—	△ 926	債務保証損失引当金	—	15
<b>[固定資産]</b>	<b>3,327</b>	<b>2,081</b>	資産除去債務	169	—
<b>有形固定資産</b>	<b>2,686</b>	<b>1,410</b>	長期未払金	69	77
建物及び構築物	859	311	預り敷金保証金	6	5
機械装置及び運搬具	200	253	<b>負債合計</b>	<b>1,385</b>	<b>908</b>
土地	1,548	826	<b>純資産の部</b>		
建設仮勘定	58	—	<b>[株主資本]</b>	<b>7,979</b>	<b>7,656</b>
その他	19	19	資本金	12,782	12,782
<b>無形固定資産</b>	<b>370</b>	<b>373</b>	利益剰余金	△ 4,771	△ 5,094
地上権	365	365	自己株式	△ 30	△ 30
その他	5	8	少数株主持分	△ 13	—
<b>投資その他の資産</b>	<b>269</b>	<b>296</b>	<b>純資産合計</b>	<b>7,965</b>	<b>7,656</b>
投資有価証券	101	101	<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,351</b>	<b>8,565</b>
出資金	9	9			
長期未収入金	471	440			
敷金及び保証金	147	154			
その他	11	17			
貸倒引当金	△ 471	△ 428			
<b>資産合計</b>	<b>9,351</b>	<b>8,565</b>			

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成22年4月1日～平成23年3月31日	平成21年4月1日～平成22年3月31日
売 上 高	31,778	32,491
売 上 原 価	30,895	32,004
売 上 総 利 益	882	486
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,270	1,250
営 業 損 失 ( △ )	△ 387	△ 764
営 業 外 収 益	30	26
受 取 利 息	0	0
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
違 約 金 収 入	—	7
未 払 配 当 金 除 斥 益	10	—
受 取 保 険 金	—	0
そ の 他	9	9
営 業 外 費 用	80	81
支 払 利 息	12	7
休 山 管 理 費	67	67
そ の 他	0	6
経 常 損 失 ( △ )	△ 437	△ 819
特 別 利 益	961	35
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	37	35
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	924	0
固 定 資 産 売 却 益	0	—
特 別 損 失	231	974
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	37	950
固 定 資 産 除 却 損	—	0
訴 訟 和 解 金	—	5
前 期 損 益 修 正 損	12	—
減 損 損 失	43	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	293	△ 1,757
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	19	20
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益	273	—
少 数 株 主 損 失 ( △ )	△ 49	—
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 ( △ )	322	△ 1,778

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				少数株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成22年3月31日 残高	12,782	△ 5,094	△ 30	7,656	—	7,656
連結会計年度中の変動額						
当期純利益		322		322		322
自己株式の取得			△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）					△ 13	△ 13
連結会計年度中の変動額合計	—	322	△ 0	322	△ 13	309
平成23年3月31日 残高	12,782	△ 4,771	△ 30	7,979	△ 13	7,965

# 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度	科 目	当事業年度	前事業年度
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在		平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>〔流動資産〕</b>	<b>6,195</b>	<b>6,832</b>	<b>〔流動負債〕</b>	<b>322</b>	<b>336</b>
現金及び預金	1,796	2,177	買掛金	10	15
受取手形	—	924	1年内返済予定の長期借入金	135	84
売掛金	1,132	60	未払金	11	11
有価証券	34	13	未払費用	7	5
商品及び製品	400	340	未払法人税等	27	27
仕掛品	116	341	前受金	5	3
原材料及び貯蔵品	50	62	預り金	3	2
販売用不動産	357	—	債務保証損失引当金	15	37
仕掛不動産	431	1,559	デリバティブ債務	96	134
前払費用	18	17	未払消費税等	7	—
関係会社短期貸付金	769	949	その他	1	12
未収入金	0	0	<b>〔固定負債〕</b>	<b>716</b>	<b>471</b>
預け金	998	1,282	長期借入金	459	361
未収消費税	—	12	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
デリバティブ債権	72	—	債務保証損失引当金	—	15
その他	18	17	長期未払金	49	56
貸倒引当金	—	△ 926	預り敷金保証金	31	30
<b>〔固定資産〕</b>	<b>2,823</b>	<b>1,618</b>	資産除去債務	169	—
<b>有形固定資産</b>	<b>1,911</b>	<b>778</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,039</b>	<b>807</b>
建物	665	207	<b>純資産の部</b>		
構築物	0	0	<b>〔株主資本〕</b>	<b>7,979</b>	<b>7,644</b>
機械及び装置	191	240	資本金	12,782	12,782
車両運搬具	0	0	利益剰余金	△ 4,771	△ 5,107
工具、器具及び備品	18	17	その他利益剰余金		
土地	1,035	313	繰越利益剰余金	△ 4,771	△ 5,107
<b>無形固定資産</b>	<b>368</b>	<b>371</b>	<b>自己株式</b>	<b>△ 30</b>	<b>△ 30</b>
施設利用権	1	1	<b>純資産合計</b>	<b>7,979</b>	<b>7,644</b>
地上権	365	365	<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,019</b>	<b>8,451</b>
商標権	0	1			
ソフトウェア	1	2			
<b>投資その他の資産</b>	<b>543</b>	<b>468</b>			
投資有価証券	1	1			
関係会社株式	100	100			
出資金	1	1			
長期未収入金	471	440			
関係会社長期貸付金	330	375			
金属鉱業等鉱害防止積立金	7	7			
敷金及び保証金	143	150			
その他	4	5			
貸倒引当金	△ 515	△ 613			
<b>資産合計</b>	<b>9,019</b>	<b>8,451</b>			

# 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	平成22年4月1日~平成23年3月31日	平成21年4月1日~平成22年3月31日
売 上 高	29,990	31,700
売 上 原 価	29,517	31,379
売 上 総 利 益	473	321
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	969	945
営 業 損 失 ( △ )	△ 496	△ 624
営 業 外 収 益	49	38
受 取 利 息	20	19
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
未 払 配 当 金 除 斥 益	10	-
そ の 他	8	9
営 業 外 費 用	76	81
支 払 利 息	8	7
休 山 管 理 費	67	67
そ の 他	0	6
経 常 損 失 ( △ )	△ 523	△ 666
特 別 利 益	1,089	35
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	37	35
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	1,052	0
特 別 損 失	218	1,147
固 定 資 産 除 却 損	-	0
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	37	1,122
減 損 損 失	43	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136	-
そ の 他	-	5
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	348	△ 1,778
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	12	12
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 ( △ )	335	△ 1,791

## 株主資本等変動計算書

当事業年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	純資産合計
		その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
平成22年3月31日 残高	12,782	△ 5,107	△ 5,107	△ 30	7,644	7,644
事業年度中の変動額						
当期純利益		335	335		335	335
自己株式の取得				△ 0	△ 0	△ 0
事業年度中の変動額合計	—	335	335	△ 0	335	335
平成23年3月31日 残高	12,782	△ 4,771	△ 4,771	△ 30	7,979	7,979

# 会社概要(平成23年3月31日現在)

会社名 中外鉱業株式会社  
(英文名) Chugai Mining Co., Ltd.  
本社 〒100-6312  
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル  
TEL 03-3201-1541(代)  
FAX 03-3201-5019  
http://www.chugaikogyo.co.jp  
創立 昭和7年5月2日  
資本金 12,782,064,884円  
発行可能株式総数 1,158,900,000株  
発行済株式の総数 289,747,982株

## ■事業所

東京支店 〒100-6312  
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル  
TEL 03-3201-1542 FAX 03-3201-1600  
御徒町支店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目25番16号 ウエハラビル  
TEL 03-3832-1261 FAX 03-3832-1263  
御徒町南口支店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目13番11号 二栄ビル  
TEL 03-5812-9020 FAX 03-3835-2444  
新御徒町支店 (平成23年2月25日新設) 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目25番15号 石黒ビル  
TEL 03-6806-0038 FAX 03-6806-0048  
仲御徒町支店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目15番16号 川村ビル  
TEL 03-6803-2581 FAX 03-6803-2583  
新宿西口支店 〒160-0023  
東京都新宿区西新宿七丁目2番10号 栄立新宿ビル  
TEL 03-5913-7800 FAX 03-5913-7801  
銀座支店 〒104-0061  
東京都中央区銀座一丁目14番12号 楠本第17ビル  
TEL 03-6427-6600 FAX 03-6427-6622  
ルピナス銀座店 〒104-0061  
東京都中央区銀座五丁目4番15号 西五ビル  
TEL 03-6228-5353 FAX 03-6228-5363  
五反田支店 〒141-0031  
東京都品川区西五反田二丁目6番3号 東洋ビル  
TEL 03-6431-9989 FAX 03-3779-2961  
甲府支店 〒400-0031  
山梨県甲府市丸の内二丁目8番3号 丸和ビル  
TEL 055-227-3500 FAX 055-227-3330  
名古屋支店 〒460-0011  
名古屋市中区大須三丁目15番16号 第一水野ビル  
TEL 052-242-0676 FAX 052-242-6778  
大阪支店 〒542-0081  
大阪府中央区南船場四丁目6番10号 新東和ビル  
TEL 06-4704-5061 FAX 06-4704-5062

## ■事業所

福岡支店 〒810-0001  
福岡市中央区天神五丁目7番3号 福岡天神北ビル  
TEL 092-405-8010 FAX 092-405-8623  
仙台支店 〒980-0021  
宮城県仙台市青葉区中央二丁目11番30号 YSビル  
TEL 022-397-7511 FAX 022-397-7512  
東京工場 〒143-0003  
東京都大田区京浜島二丁目12番16号  
TEL 03-3790-7130 FAX 03-3799-4091  
持越工場 〒410-3206  
静岡県伊豆市湯ヶ島892番地41  
TEL 0558-85-0762 FAX 0558-85-1547

## ■役員

代表取締役社長 安藤道明  
常務取締役 小川幸重  
取締役 葛山稔  
取締役 阿部守  
常勤監査役 西元丈夫  
社外監査役 山崎康雄  
(弁護士)  
社外監査役 内田雅敏  
(弁護士)  
社外監査役 高橋信行  
(公認会計士)

## ■連結子会社

株式会社インテックス  
CR任意組合  
IR任意組合

## ■非連結子会社

株式会社キャリアメイト

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店 ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各 支店で行っております。
	<ul style="list-style-type: none"><li>・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座 の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。</li><li>・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。</li></ul>
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求場所	上記の株主名簿管理人、同事務取扱場所
公告方法	電子公告により行ないます。 公告掲載URL <a href="http://www.chugaikogyo.co.jp/">http://www.chugaikogyo.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない 事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場取引所	東京、大阪各証券取引所

